

知って！遊ぼう！森と木



北陸農政局「消費者の部屋」

展示期間：令和6年8月1日（木）～8月30日（金）

「知って！遊ぼう！森と木」

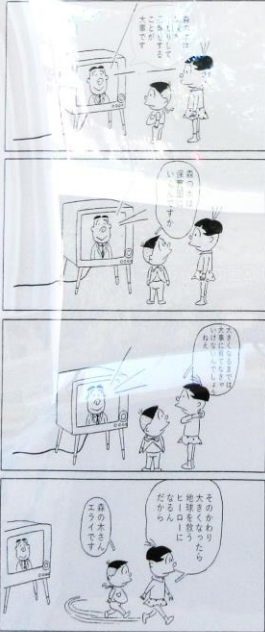
パネル展示①

サザエさん一家は「森林の環(もりのわ)応援団」として、豊かな森林を育む活動を応援しています

サザエさん一家の「もりのわ」話吹き出しコンテスト 令和5年度受賞作

林野庁長官賞 「森の保育」

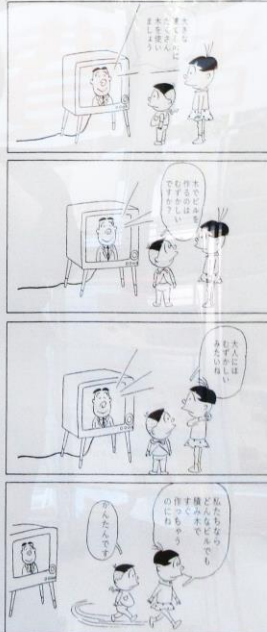
東京都青梅市 飛田直子氏 (70代)



©長谷川町子美術館

林野庁長官賞 「高層木造建築」

茨城県つくば市 釣田林太郎氏 (20代)



©長谷川町子美術館

みどりの感謝祭運営委員長賞 「森林の役割って何？」

千葉県千葉市 山下結愛氏 (10代)



©長谷川町子美術館

長谷川町子美術館長賞 「循環利用」

東京都新橋区 山口真二郎氏 (40代)



©長谷川町子美術館

「知って！遊ぼう！森と木」

パネル展示②

日本一楽しい！「うんこドリル 森とくらし」じゃ！
うんこドリルと林野庁がコラボしたぞい！



林野庁林野図書資料



「知って！遊ぼう！森と木」 パネル展示③

「遊ぼう！」「森と木」

野図書館コーナー

マンガで楽しく学ぶ森林・林業・木材産業の魅力

林業作業 その5 間伐

間伐とは、主伐木を育てるために、密生した林の中の木を間隔をあけて取り除くことです。間伐を行うことで、残った木がしっかりと育ち、木材として活用できます。

林業作業 その6 主伐

主伐とは、成熟した木をまとめて収穫することです。主伐後は、林の再生のために植樹が行われます。

林業作業 その7 造材・搬出

造材とは、伐倒された木を適切な長さや太さに加工することです。搬出とは、造材された木材をトラックやトラックで市場へ運ぶことです。

林業作業 その8 地帯え

地帯えとは、伐倒された木の残骸や枝を除去し、林床を整えることです。地帯えを行うことで、林の再生が促進されます。

ご自由にお持ち帰りください。



原木市場

原木市場とは、山で伐採された原木を売ったり買ったりする市場です。伐採現場からトラックで市場に運ばれてきた原木を、ホイローダーやフォークリフトを使って仕分けします。仕分けの原は原木の種類、長さや太さといった形状のほか、原木の品質や需要を見極めることが大切です。山状に積み上げられた原木は「せり」にかけられ、「はい」ごとに売り買われます。

製材

製材とは、木の特性を見極めて、角材や薪材などの材木に加工する作業です。木は生きものなので、同じ森で育っても一本一本違いがあります。その木の個性を活かし、どのように製材すれば無駄なく様々な材木を作ることができるか、見極めることが重要です。何十年もかかって育った木は、製材された木の柱などになることで、さらに数十年生きるようになります。



「知って！遊ぼう！森と木」 パネル展示④

石川森林管理署コーナー

令和6年能登半島地震へから見た森林被害



令和6年能登半島地震に伴う森林被害調査（ヘリ調査）の結果【石川県】



石川森林管理署管内図

- ① 小松市・安宅林国有林及び民有林 (被害なし)
- ② 輪島市町野町 (民有林)
- ③ 輪島市町野町 (民有林)
- ④ 珠洲市若山町・清水町 輪島市町野町 (民有林)
- ⑤ 珠洲市若山町・清水町 輪島市町野町 (民有林)
- ⑥ 珠洲市正院町 (民有林)

石川森林管理署の国有林

安宅林風景林

加賀海岸自然休養林

蛇谷風景林

白山森林生態系保護地域

**森の巨人百選に選定されている
コモチカツラ**

石川森林管理署は、近畿中国森林管理局の地方部局で石川県内に所在する国有林の管理経営を行っています。管内の国有林は、石川県南部に位置し、多くは県境の標高の高い地域に所在し、一部が海岸部に小面積で点在しています。生物多様性保全や山地災害防止などの公益的機能の発揮等重要な役割を担っています。

奇数日：ドローン空撮映像
偶数日：レクリエーションの森
スライドショー



富山県西部森林組合です！

こんにちは！富山県西部森林組合 新が越工場・もりもりハウスです。

おが越工場（富山県富山市新成182）
おが越工場は、富山県西部森林組合（新成）が所有する製材工場（新成）を、1971年に建設されたもので、現在は「おが越」ブランドの製材を行っています。

品名	単位	価格
おが越	1000	1800
おが越	1000	1800
おが越	1000	1800
おが越	1000	1800

もりもりハウス（富山県富山市新成175）
もりもりハウスは、製材工場（新成）の隣りにあり、おが越の製材工場（新成）で加工された木材を、おが越の製材工場（新成）で乾燥・仕上げを行っています。

広葉樹林の再生と特別広葉樹材の活用

広葉樹林の再生
広葉樹林は、温暖な気候を好む樹種が主で、日本では主に関東以南に分布しています。近年、広葉樹林の減少が懸念されており、再生が求められています。

特別広葉樹材の活用
特別広葉樹材は、広葉樹林から採れる木材で、独特の質感と強度を誇ります。建築材や家具材として活用されています。

おが越工場
おが越工場は、特別広葉樹材の加工を行っています。

もりもりハウス
もりもりハウスは、特別広葉樹材の展示を行っています。

おが越工場（おが越）の製品紹介

おが越工場は、おが越の製材工場（新成）で加工された木材を、おが越の製材工場（新成）で乾燥・仕上げを行っています。

おが越の製品
おが越の製品は、おが越の製材工場（新成）で加工された木材で、おが越の製材工場（新成）で乾燥・仕上げを行っています。

おが越の製品
おが越の製品は、おが越の製材工場（新成）で加工された木材で、おが越の製材工場（新成）で乾燥・仕上げを行っています。



「知って！遊ぼう！森と木」

林産物展示①





木材チップ



オガ粉

菌床キノコの
原材料

フタを取って
ご覧ください

林産物にはどんなものが

人 ひと も も 木 き

紙漉き

ロギール・アウテンボーグ氏さん (高知県梹原町)

紙漉きは、紙（特に「和紙」）の昔ながらの製法です。私たちが日常ノートや本で利用しているのは、木材リレブや古紙などを原料に「ミツマタ」です。これに対し、コウゾやミツマタなどを原料に作られた紙は「和紙」と呼ばれ、カビや虫食いから守れば千年以上保つこともできます。近年はインテリアやアート等様々な場面で活用が広がっています。また、日本の紙幣にはミツマタが使用されています。

和紙の原料となるコウゾ、ミツマタ、ワは全て自分で栽培。

原材も蒸して皮を剥く。

粘りを出すトロアオイも。

さらいながら水と日光で漂白して叩いてほぐす。

管桁で均等に漉く。

一枚ずつ天日で乾燥。

光にかざすと繊維が見える。

水が滲む冬の作業。



雪さらし後の
コウゾの皮



ミツマタ

「知って！遊ぼう！森と木」

林産物展示③

